

授業科目名	基礎看護学Ⅳ (フィジカルアセスメント)	担当教員名	前田 三枝子 基礎・成人看護学専任教員			
期間	前期	履修学年	1	2	3	4
単位数・時間	1単位・30時間			●		
授業形態	講義・演習		●－必修・○－選択			
授業の概要 学習目標	<p>〔授業の概要〕 講義・DVD 自己学習、演習を通し、臨床看護判断ならびに看護診断の出発点となる身体アセスメントに関する情報収集の必要性を理解し、身体アセスメントの技術を習得する。</p> <p>〔学習目標〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程のアセスメント段階における情報収集の目的と意義並びにその方法を理解することができる。 2. フィジカルアセスメントの目的と方法が説明できる。 3. フィジカルアセスメントと看護診断との関連が説明できる。 4. 身体各部の基本的なフィジカルアセスメントが実施できる。 					
授業回数	授 業 の 内 容					
第 1 回	コースガイダンス 演習の進め方について					
第 2 回	看護過程のアセスメント段階における情報収集の目的と意義 フィジカルアセスメントの目的と方法					
第 3 回	フィジカルアセスメントと看護診断					
第 4 回	フィジカルアセスメントの基本技法：視診、触診、打診、聴診					
第 5 回	皮膚・体毛・爪・リンパ節及び頭頸部のアセスメント					
第 6 回	呼吸器系のアセスメント					
第 7 回	循環器系のアセスメント					
第 8 回	消化器・泌尿器系のアセスメント					
第 9 回	神経・感覚器系のアセスメント					
第 10 回						
第 11 回	筋・骨格系のアセスメント					
第 12 回						
第 13 回	中枢神経系のアセスメント					
第 14 回						
第 15 回	臨地演習 フィジカルアセスメントの実際					
成績評価の方法	出席状況、演習課題、小テスト、臨地演習参加度、最終筆記試験等の総合評価					
テキスト	実践！フィジカルアセスメント、改定第3版、金原出版					
参考図書	山内豊明、フィジカルアセスメントガイドブック、医学書院					
履修上の留意点	毎回人体の構造と機能の復習が必須。相互に患者役と看護者役を演習する。 臨地演習は津名白寿で実施する。					